

◆参考資料（基本計画からの抜粋）

図表19 拠点のあり方

基本理念・基本方針

- 「つどい つながり はぐくむ みんなの居場所～こどもが輝く未来を創る～」
- 【はぐくむ】 全ての子育て世帯が安心して交流し気兼ねなく相談できる場所
- 【つながり】 成長や発達過程に応じて支援を必要とする人に必要な支援が提供できる場所
- 【つどい】 大人も子どもも多世代が集いわくわくと子育てを楽しめる場所

拠点のあり方

「はぐくむ」⇒ 子育て支援のハブとなる拠点

- ・関連機関の集約・連携を通じて、子育て支援機能の強化・拡充を図る
- ・本市における子育ての象徴的な存在として、関係部署や関係機関との円滑な連携を図るためのハブとしての役割を担い、まち全体で子育てを支える環境の充実を目指す

「つながり」⇒ こども・子育て世代を中心に、誰もが利用できる拠点

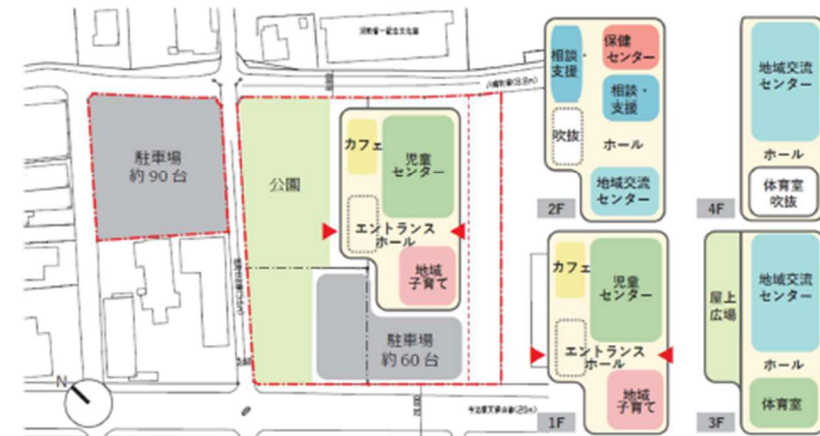
- ・複合化の特性を踏まえ、機能間連携、施設の一体利用等ととし、ソフト・ハード両面において、シームレスな、交流しやすい拠点とする
- ・誰もが使いやすい全世代型の施設とするとともに、全市から幅広く利用者を集める施設とすることを旨とする

「つどい」⇒ 中心市街地におけるリーディングプロジェクト

- ・事業用地を含む中心市街地は、本市の中心拠点として位置づけられ、複合的な都市機能の集積や官民連携によるまちなかの賑わい創出などが目指されている。
- ・多くの市民が利用する魅力的な場所とすることで、以降の再整備を先導し、周辺施設と連携し相乗効果を発揮していくことを目指す。

※あくまで現時点での想定であり、今後の詳細検討、設計等において変更となる

図表24 平面イメージ（パターン2の場合）



気軽に相談できる場所／利用者に寄り添った支援

- こどもを遊ばせながら子育てに関する相談ができるなど、相談のハードルを下げ、必要な人が必要な支援につながりやすくするとともに、関係機関が連携した伴走型の支援を行います



こどもの居場所/多様な活動のサポート

- 0歳～18歳までのすべてのこどもの居場所となる施設を目指します
- 特に中高生による自分らしい多様な活動をサポートできる拠点とします



多世代の活動・交流の場

- 地域交流センターの機能を最大限に活かし、あらゆる世代の活動・交流を支援します



中心市街地活性化の拠点

- 日常的にそれぞれの時間を過ごす場所として、また、まちに関わるイベントの場として、公園と施設が一体となった憩い、賑わいの空間を創出します

